

# かみねっちょ新聞

令和2年 10月号

## ～あなたの知らない飼育員の世界～

### ポニーの蹄（ひづめ）事情

8月27日（木）、蹄専門の先生方とともに1年に1度の「蹄のケア」を実施しました。人の指先にツメが生えているように、ポニーの足先にもツメがあります。人のツメと比べると、厚くて太くて硬いのが特徴です。人と同じように日々少しずつ伸びるので、伸びてきたな～と思ったら、切ったり、整えたりしています。



蹄の病気が原因で命を落とすこともあり、「蹄なくして馬なし」「第二の心臓」と言われるほど、蹄はポニー（ウマ）にとって非常に大切なものです。蹄を健康に保つことはポニーそのものの健康を保つことにつながるのです。



サチコ、近すぎ!!!

さて、今回は、サチコの蹄が割れたことによる蹄の変形、バランスの悪さによる足への負担が見受けられたため、早急に先生方をお願いして、きれいに整えてもらいました。麻酔下での処置となったため、起きた後は「わたしに何してくれたのよ!!?」という感じで近づかせてはくれませんでした。次の日には何事もなかったかのように「なにか美味しいものちょーだい」と寄ってきてくれたので一安心。

今回はポニー3頭とロバ1頭の計4頭の蹄を整えてもらいました。また1年後にみてもらう予定ですが、なるべく今の状態を保てるよう、日々のケアをしっかりと行っていこうと思います。



実施前



実施後

飼育員 ところ

